

会議の概要

令和6年度 第9回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会 ○ 大玉村地域学校協働本部 第3回地域教育協議会

日 時：令和7年2月26日（水）18:30～20:40

場 所：改善センター1階 多目的ホール

（ 進行 指導主事 渡邊 博樹 ）

- 1 開会のことば （ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 館下 愛理 ）
皆さん、こんばんは。これより令和6年度おおたま学園第9回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いいたします。

- 2 教育長あいさつ （ 大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘 ）

皆様、こんばんは。本日もお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

また、先日のコミュニティ広場でも大変お世話になりました。お陰様で、学びのある充実した会になったと捉えております。ありがとうございました。

さて、本日は、本年度最後の委員会ということになります。今年度1年間の皆様のご尽力に感謝申し上げますと共に、本日は、令和7年度各園・各校の経営・運営の方針等についてのご承認をいただくことを始め重要な内容となりますので、積極的なご発言をお願いいたします。

また、今年度末は委員の皆様の改選の時期ということになっております。各委員の皆様には、これまで多大なご協力をいただき重ねて感謝申し上げます。改選に当たっては、継続性と新規性とのバランスをとりながら、ご意見をいただきつつ組織作りを進めて参りたいと考えておりますので、このことにつきましてもご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



- 3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ
（ CS委員会会長 矢吹 吉信 ）

皆様、改めましておぼんでございます。本日もお忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

教育長からもありましたように、2月15日のコミュニティ広場では大変お世話になりました。第2部は、皆様の司会進行のお陰で非常に充実した時間となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

本日は、2年間の総まとめでございます。皆様には、2年間CS委員をお務めいただきましてありがとうございます。再任も大歓迎ということですので、新年度も皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。できれば再任していただき、また力を貸していただければと思います。

また、本日は毎年最後の集まりで、とても濃厚なスケジュールになっております。進行が駆け足になってしまうかもしれませんが、来年度の運営方針等重要案件がいろいろありますので、ご協力いただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。お世話になります。

- 4 諸連絡 本日の日程・内容について （ 指導主事 渡邊 博樹 ）
＜5つの協議内容について＞

（1）令和7年度各校園の経営・運営の方針等について

- (2) 令和7年度おおたま学園CS委員会の運営について
 - ・今年度の反省、来年度の計画について説明する。それを踏まえて意見交換をする。
- (3) 令和6年度地域教育協議会評価・検証のまとめについて
- (4) 第6回おおたまコミュニティ広場アンケート結果について
- (5) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【大玉村概要】について

5 協議 (座長 CS委員会会長)

(1) 令和7年度各校園の経営・運営の方針等について(要点を抜粋)

① 学校関係者評価委員会について(学校関係者評価委員長より)…詳しくは資料参照

(座長) 暫時座長ということで司会を務めさせていただきます。

それでは、「(1) 令和7年度各校園の経営・運営の方針等について」より始めます。まずは、大山幼稚園担当の評価委員長さんから令和6年度学校関係者評価の報告をお願いします。

【大山幼稚園】 (CS委員 佐藤 史江)

○ 重点目標の評価について(下記ア～ウについて)

ア 「なかよく遊ぶ子」(身近な人とかかわろうとする子の育成)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- あいさつ運動は効果が出ている。自然な形でできるように保護者や教職員が見本を見せて取り組めるようにするとよい。
- 友達との関わりにおいては言葉で伝え合うことが大切。保護者と教師がコミュニケーションをとりつつ育てていってほしい。
- 異学年交流について… 幼、小が隣立している利点を活かす。縦割りの活動を増やしてみてはどうか。

イ 「元気に遊ぶ子」(心も体も健康な子の育成)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 子どもの肥満の問題があるが、「体を動かすことは楽しい」ということを意識化することが大切であるので、今後も様々な遊びを取り入れる取組を継続していってほしい。
- 「最後まで諦めない」に関する保護者アンケートが高評価。先生方の日頃の指導に感謝する。
- 基本的な生活習慣等を身につけることについて… 幼稚園と家庭が共通認識をもって教えていく必要がある。

ウ 「進んで遊ぶ子」(自ら進んで意欲的に遊ぶ子の育成)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 幼児の活動の“見える化”の取組が素晴らしい。
- “遊び込む”ことについて… 先生がやり過ぎてしまっただけで子どもたちのひらめきの芽を摘んでしまわないようにする。遊びの入口づくりをしてそこから広げていくように。
- 種取りの活動が行われたが、今後も季節が感じられる環境づくり、直接体験をして学べる環境づくり等をしていってほしい。

< 全体意見として >

- 個に応じた対応をしていただき感謝している。
- (日頃の指導・対応、環境づくり等) 子どもたちには十分すぎる程であるので、先生方も子どもたちと一緒にワクワクしながら毎日を過ごしていただきたい。今色々なことに取り組んでいるが、次は、そこから必要なものだけを残していき、「シンプルながらも充実している」そういうところに向かっていったらいいなと考える。
- テラスの改善、事務職員の増員

【玉井幼稚園】 (CS委員 麻生 希美)

○ 重点目標の評価について

3つの重点目標としてあげられている下記の項目の達成状況、及び取組の適切さについていずれもAとした。詳しくは評価報告書をご覧ください。

ア 「自ら考える子ども」(自分で考え、進んで行動できる子ども)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 手づくりの玩具で伸び伸びと遊んでいる子が多い。“遊び込める”環境づくりときめ細かな声かけがなされている。

- 話を聞くことが苦手な子に対して … 読み聞かせの際にクイズや質問タイムを設ける等メリハリをつけると聞く力がついてくるのではないかな。

イ 「心豊かな子ども」(友達と仲良くできる子ども)

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 自然を生かした活動を通して、地域への関心を高めることができている。園外に出かけるのが難しい年少児については、無理せず学年内の交流を深めることを優先してもよいのではないかな。

- 挨拶やお礼について … 自然な形でできるように。小学生に「おはようボランティア」として協力してもらい、挨拶の楽しさを体験してみてもどうか。

ウ 「たくましい子ども」(目標に向かって挑戦できる子ども)

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 先生方の子どもの活動の見守りが素晴らしい。子ども一人一人の発達段階を把握し、情報を共有することで、その瞬間の意欲や諦めない心を見逃さず援助している。
- 幼児が自分のことは自分でできるようになるとよい。

→ リュック・水筒・貸し出し絵本等を自分で持つ、親子で持ち物に名前やマークを記入する等



< 全体意見として >

- 学校評価のアンケートから、幼稚園は保護者にとってとても頼れる味方になっていることが伺える。今後も先生方のきめ細かな配慮が園児一人一人に届くよう、家庭との連携を図ってほしい。
- “わくわく Thinking Time” は失敗したことや嫌だったことでも素直に話し合い、お互いの違いに気づいたり、共感したりできる貴重な機会になっている。おおたま学園で一貫して“わくわく Thinking Time”を取り入れてはどうか。
- 今現在は幼稚園に子どもたちをお任せしている状態である。子どもたちを見守ること、みんなで育てることが普通にできる社会（職場）にしていかななくてはならない。

【 大山小学校 】

(CS会長 矢吹 吉信)

○ 重点目標の評価について

3つの重点目標としてあげられている下記の項目の達成状況、及び取組の適切さについて説明する。詳しくは評価報告書をご覧ください。

ア 進んで学習する子の育成（「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり、学びを支える学習基盤づくり）

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 子どもたちは主体的に学習している。先生方は授業研究を通して授業改善に取り組んでいる。
- 小学生の学習は保護者の協力あって成り立つもの。家庭の協力が必要。

イ なかよく助け合う子の育成（心に寄り添う教育の充実、SDGsを踏まえた体験活動・交流活動の充実）

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- いろいろな体験を通して思いやりの心が育まれている。
- 不登校児童に関しては、今後も支援を継続してほしい。

ウ 健やかでたくましい子の育成（やり抜く心の育成、健康・安全教育の充実）

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 保護者と協力しながら、基本的生活習慣を身につける取組を実践していく必要がある。
- メディアに関する家庭内のルール作りでは、親の理想が子どもの現実に追いついていないように感じる。

< 全体意見として >

- 子どもも親も多様化している中で、先生方の仕事従来のように進められない現状がある。余裕を持った指導のためにも、働き方改革の推進や教員の配置等改善が必要である。

【玉井小学校】

(CS委員 後藤 吉美)

○ 重点目標の評価について(下記ア～ウについて)

ア 自ら学ぶ子ども(主体的に学び、学んだことを活用できる子ども)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ B

- 自分の考えを進んで話すことについては、教師が一方的に話すのではなく、常に児童に問いかけ、考えて話せるように促しており、児童も積極的に自分の考えを話している。今後も対話的な授業を継続してほしい。
- アンケートの結果だが、自己マネジメント力につながる「自分の考えを進んで話す」、「家庭学習の目標」、「よいところ」の評価が低かった。自分の自信につながる指導や角度、目線を変えて教育していくことも必要である。
- 読書に関して…学校では、図書委員会の取り組みもあって読書活動に取り組んでいるが、家庭ではできていない。

イ 心豊かな子ども(自分や人、ふるさとを大切にできる子ども)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 学校内だけでなく、地域でも進んであいさつできる子が多い。日常的なあいさつが身につけていると言える。
- 基本的に友達のよいところは分かっているが、自分のよいところを見つけられない児童が多い。積極的に褒めたり認めたりする等の取組をしてほしい。

ウ たくましい子ども(自分の体に関心をもち、体力の向上に努める子ども)

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 子どもたちが積極的に体を動かす環境が整っている。(運動用具等)
- 朝ごはんについて…児童に対してはもちろんのこと、保護者に対してもより一層の啓発をお願いしたい。
- 日々の学校生活に対して、ほとんどの児童が「楽しい」と回答しており、よりよい学習に取り組む環境にある。
- 防災教育への取組が充実している。引き渡し訓練等新しいことにチャレンジしている。

<全体意見として>

- 各重点課題の達成状況についてAまたはBと評価されており、先生方の熱心な指導の成果が表れている。学校評価アンケートの結果からは、児童と保護者の認識に多少差はあるものの、児童は進んで学習に取り組み、授業の内容を理解していると回答しており、さらに、自分の考えを進んで話し、書くことができると自己評価していることから、自己肯定感は高く、今後も積極的な取組につながるものと期待される。

【大玉中学校】

(CS副会長 浅和 博栄)

○ 重点目標の評価について(下記ア～オについて)

ア 学校経営の基本方針【学校教育目標の具現化ぬ向け、教職員が一丸となって計画的・組織的に取り組む】

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ B

- より実態に即した生徒指導を実現するために、先生方の思いを具現化するチャレンジをしているのは素晴らしい。学年担任等、教職員内での自由な話し合い等をしながら、チャレンジしていってもらいたい。

イ 自学：意欲をもって学ぶ生徒【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、確かな学力の向上を図る】

◆ 自己評価の適切さ B ◆ 改善に向けた取組の適切さ B

- 「楽しい学校」につながる授業の一番重要な部分であると思われるが、やや不十分な現状である。家庭学習の定着化を図る目的でも個またはレベルに応じた宿題を課し、必ず提出させるような指導も必要である。
- タブレットの学習アプリを活用した宿題を導入することも様々な面で有効と思われる。
- 台湾大竹国民中学校との交流…海外の雰囲気や外国人との交流を体験し、世界に触れることができる貴重な機会である。今後も継続してほしい。

ウ 共栄：認め合い高め合う生徒【地域や社

会とつなぎ、多様な人々の心の交流を通して、豊かな人間性を育む】

◆ 自己評価の適切さ A ◆ 改善に向けた取組の適切さ B

- 大玉村内外の様々な人たちと共に行う行事経験を通して、まさに地域を担う人材である子ども

もたちの意識が高くなっている。大玉村への想いも強く感じることができる。(個人差は大きいが…)

エ 自鍛：自ら心身を鍛える生徒【望ましい生活習慣の確立に向けた健康マネジメント力の育成と体力向上に取り組む】

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ B

- 生徒の中には、生活習慣やメディア使用の自己マネジメントができいていないと自覚している子が一定数いる。家庭との連携が必須な部分であり、幼・小・中一貫したおおたま学園ならではの取組の柱の一つと思われる。
- 部活動での生徒の活躍は素晴らしい。大玉中として結果も出しており、指導している先生方の努力や指導も素晴らしい。授業中の姿とは違う一面からのアプローチで指導する機会にもなっている。



オ 地域と共に歩む学校づくり【社会に開かれた教育課程を実現し、地域と共に歩む学校づくりに努める】

◆ 自己評価の適切さ A

◆ 改善に向けた取組の適切さ A

- 地域学校協働本部の取組が先生方の負担軽減につながっている。また、今までの取組にこだわらず、先生方がやりたいこと等をサポートできるような仕組みにすることも、先生方のやりがいにつながってくると思われる。
- おおたま学園による幼・小・中連携の取組をさらに推進していく必要がある。

< 全体意見として >

- 学校評価における自己評価は概ね適切である。
- おおたま学園としての方向性をしっかりと整理し、そのメリットを最大限に生かしてほしい。少しずつでもICTの活用等による業務負担の軽減を図りながら、先生方同士の話し合いや子どもたちと向き合う時間を確保できるようにしたい。

(座 長) みなさん、学校評価本当にありがとうございました。

それでは、続いて②「令和7年度各校園の経営・運営の方針説明」に移ります。大山幼稚園よりお願いします。

② 令和7年度各校園の経営・運営の方針説明(各校・園より)

【資料：各校・園 令和6年度学校運営の方針(学校運営ビジョン)】

【大山幼稚園】

(副園長 二瓶 博子)

- 教育目標は大山小学校と同様
- 重点目標 … 今年度と同じ。子ども一人一人に寄り添う保育に努めたい。
- 重点事項について … シンプルで充実した保育を大事にしていく。

「なかよく遊ぶ子」(身近な人とかかわろうとする子の育成)

② 豊かな体験活動の充実

- イ 大山小・玉井幼・地域の人との交流活動の充実
→ 幼稚園でできることを考え改善していきたい。

「元気に遊ぶ子」(心も体も健康な子の育成)

① たくましい体と心を育てる

- 環境の見直しと「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」に重点を置いた保育
- 「幼児期運動指針の活用」を追記

② 健康で安全な生活をする力の育成

- 基本的生活習慣の確立、親育てについて … 教職員、CS委員等たくさんの方の意見を生かす

「進んで遊ぶ子」(自ら進んで意欲的に遊ぶ子の育成)

- 【5歳児の目標】 … 興味や関心を深め、試行錯誤しながら遊びを発展させていくことができる(探究心や学習意欲につながる。粘り強くチャレンジできるように)

- ① 主体的・対話的に活動する力の育成
ア 「学びを支える環境構成」を追記
- ② 考える力・表現する力の育成
ア 「学びを支える環境構成」を追記
ウ 「言葉による振り返り・伝え合いの場」を追記 ～ 令和6・7言葉を育てる研究

【玉井幼稚園】

(副園長 後藤 弥和子)

- 教育目標は玉井小学校と同じ
 - めざす幼稚園像 … 3つに絞る
→ ○ 子どもが生き生きと活動する幼稚園 ○ 安全・安心で、笑顔があふれる幼稚園
○ 家庭・地域とともに歩む幼稚園
 - 「目指す教師像」を「目指す教職員像」に変更
 - 保護者の願い … 保護者アンケートをもとに設定
 - 重点目標について
- 「自ら考える子ども」(自ら考え、進んで行動できる子ども)
- 1 主体的に活動する意欲の育成
 - ② 「適切な学びの環境」を「学びを支える環境構成」に変更
 - 2 学びを創造しようとする意欲の育成
 - ① 「学びを支える環境構成」を追記
 - ② 「言葉による振り返り・伝え合いの場」を追記
- 「心豊かな子ども」(友達と仲良くできる子ども)
- 1 思いやりの心の育成
 - ② 多様な気づきを促し主体的に判断し行動するための素地の育成 → いろいろな考えがあることに気付けるような場や環境の工夫
 - ③ 学級経営 → 心の育成
 - 2 豊かな体験活動の充実
 - ② 「おおたまっ子虹の架け橋カリキュラム」を追記
- 「たくましい子ども」(目標に向かって挑戦できる子ども)
- 1 自ら身体を動かして遊ぼうとする意欲の育成
 - ① 楽しく体を動かせる遊びや環境の工夫
 - 2 健康で安全な生活をする力の育成
 - ① 括弧内に「引き渡し訓練」を追加
 - ② 基本的生活習慣の定着への啓発
→ 「家庭の連携」を追記
・各種便りによる呼びかけ ・自分でできることを増やすための見取りと声かけ

【大山小学校】

(校長 澤藤 晃治)

- 教育構想については変わらない。
 - 合い言葉 → 「挑戦は夢を叶える第一歩 ～失敗したらばん回～」に変更
- 「なかよく助け合う子」(進んで「ひと・もの・こと」に関わりながら互いの人権を尊重する心を育てる)
- 心に寄り添う教育の充実
イ QU等～
オ 「考え、議論する道徳」を軸に、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応、自分事化
 - SDGsを踏まえた体験活動・交流活動の充実
イ 地域人材や素材、地元企業との村の将来を見据えた持続可能な更なる連携推進
- 「健やかでたくましい子」(健康で安全な生活ができるようたくましい心身を育てる)
- やり抜く心の育成
イ 「食：自分手帳等の活用」
 - 健康・安全教育の充実
ア ～基礎的な生活習慣(食：ICT等の利活用)の見直し～
ウ 自己のよりよい心身の健康(食：マスク着用などの感染症対策)～
- 「進んで学習する子」(自ら考えともに学び育つ子どもを育てる)
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり
ア 子ども真ん中の授業づくりに基づいた授業構想(食：精選された発問)

イ 学年の実態に合わせた教科担任制の更なる推進（将来的な学年担任制を視野）（含：外国語教育の充実）

○ 学びを支える学習基盤づくり

ウ 「デジタル・シチズンシップ教育」の推進により～

→ 「デジタル・シチズンシップ教育」及び「大玉を生きる教育（含：防災教育・復興創世）」の推進により次代のよき担い手となる資質の向上

エをカット

【玉井小学校】

（校長 五十嵐 洋之）

○ 教育目標は今年度と同様

○ 学校経営を支える3つの柱を大切に、教職員全員で共有しながら、「知」・「徳」・「体」の資質を高める教育活動を展開する。

○ 令和7年…今年の漢字は「輝」

・「一人一人の笑顔が輝く1

年にしたい」「自分を磨いて輝く1年にしたい。その先に輝く未来が待っている。」各種活動に目標をもち主体的に取り組むことによって、子ども一人一人がキラキラと輝く「みんなが主役」の学校を目指したい。

○ 目指す学校像3点を変更

- ・ 夢や目標をもって自己実現できる学校
- ・ 子ども一人一人を大切にする学校
- ・ 安全安心で信頼できる学校

○ 「目指す児童の姿」を設定した

- ・ 自ら考え、共に学び合い、共に高め合う子ども
- ・ 相手の立場に立って考え行動できる優しさと強さをもつ子ども
- ・ 健康な心と身体づくりを目指し、主体的に実践できる子ども

○ 重点事項について

「自ら学ぶ子ども」（主体的に学び、学んだことを活用し、表現できる子ども）

1 基礎的な学力の向上

③ 朝の時間や「チャレンジタイム」を活用した基礎学力の定着と向上を追加

2 子どもが自ら考え、学び合う授業づくり

① 児童ができた・分かったを実感できる授業づくりの工夫

→ 外部の専門性の高い講師を招聘する等、研修の時間を大切にしながら、「課題設定」、「教師のコーディネート」、「学びの振り返り」に重点を置いて授業改善を図っていく。（子どもの知的好奇心を高めて授業が始まり、「次はこんなことをしてみたい」、「できるようになりたい」と思える授業を行うことによって、子どもたちの学力の定着を図る。）

また、朝の日課表を見直し、読書と併せて「読み」、「書き」、「計算」等の基礎学力定着の時間を設定する。

「心豊かな子ども」（互いを認め合い、共に高め合う子ども）

＝親和的で規律ある集団づくりを通して、他者を思いやり、相手の立場に立って考え、行動できる子どもを育成

2 一人一人のキャリア形成と、自己実現を図る特別活動等の充実

「③ ふるさとへの理解を深め、ふるさとへの愛着・愛情を高める取組の工夫（特別活動・総合的な学習・各教科等）」を追加

→ ふるさとへの愛着・愛情を育む取組を更に工夫することを通して、基盤となる優しさやたくましさを身につけさせたい。次年度も地域学習を更に工夫・充実させていく。

「たくましい子ども」（健康な生活へのめあてをもち、主体的に実践できる子ども）

1 体力・運動能力の向上と日常化に向けた指導の充実

① 各学年の体力の実態に応じた指導計画の作成及び「運動身体づくりプログラム」の重点的実践（筋力、持久力、瞬発力）

③ 体育科における学習カードの効果的な活用と校内記録会の設定

→ 今年度、外遊びタイム・スポーツタイム等の全校一斉の体育的活動や一輪車、竹馬、ドッ



ジボールコートの設置等、体力の向上や運動の日常化を図るための工夫をしてきた。その成果もあり、子どもたちの運動に対する意識や体力は向上傾向にある。令和7年度も継続すると共に、息が上がり汗をかく体育の授業の充実や、日頃の体育的活動の取組の成果を発揮する場として、校内持久走大会を新たに設定し、子どもたちが自分の目標をもって運動を継続できるようにしていく。

2 健康な生活に向けた健康マネジメント力の育成

「③ 感染症予防への主体的な取組」を追加

3 自分や他者の命を守る教育の実践

「③ 交通ルールの継続的な確認と遵守」を追加

【大玉中学校】

(校長 久保寺 徹)

○ 教育目標と“目指す生徒像”は継続する。

<変更した点について>

○ “目指す学校像”を明らかにした。

「楽しい学校」＝ わかる・できる授業をベースに、魅力と必要性の高い学校で、生徒が自己有用感を感じ、教職員がやりがいを感じられる学校

・令和6年度から掲げたが実現がなかなか難しい。全員がそう感じることはかなり難しい。

○ 学校経営の基本方針

◆自ら進んで行動できる生徒の育成 → 自主自律・自己マネジメント力

・合い言葉：令5「全力」→令6「チェンジ」→令7「自主・自律」または「創造」

・本年度は各自スケジュール帳を作っている（＝自分の未来をマネジメントすること）

・本校の生徒は、言われたことはやるが、自分たちで考え、判断して動き出すことは苦手



自ら進んで行動できるようにすることが大事

◆生徒が主役となる教育 → 生徒の手で創り上げる学校（自己有用感）

・中学校はとにかく行事等やることが多い。教師がお膳立てをして進めた方が早いし、その方が間違いはないが、生徒の自主性は育たない。



* ハードルを上げて

・生徒に考えさせることを重点にする → 教師は今までよりも早く計画を立てて、子どもたちに提示する必要がある。その後考えさせる時間、修正する時間も必要。

<教員の覚悟>…「挑戦者であれ」何事にもチャレンジしようとする教員（マンネリからの脱却）

◆生徒自身がつよさを見つけ、それを伸ばす教育 → 多様性への対処

◆大玉村、大玉中の良さを実感させ、所属感を高めることで、何事にも自信をもって行動できる生徒の育成 → 大玉プライド

○ 重点事項「知」「徳」「体」「絆」… 基本的に令和6年度と同様

学校経営の基本方針を受けて、特に下記の事項に力を入れる

「自ら進んで学習に取り組む意欲の醸成」（知）

「できる」を実感できる授業の構築（知）

「自主自律と自己マネジメント力」（徳）

今年度十分でなかったところをバージョンアップ！

③ 意見交換 → 承認

(座 長) ありがとうございます。只今令和7年度の各校園の経営・運営ビジョンの説明がございました。意見交換に移らせていただきたいと思います。皆さんから何か質問や意見等があればお願いします。

お話をお聞きますと、夢に向かって頑張る子を育てるんだという思いが経営・運営ビジョンに表れておりました。期待と共に一緒に取り組んでいきたいと決意を新たにされたところですが…。

(麻生委員) 我が子にも「自主自律」、「自己マネジメント力」等を高めてもらいたいと思い、小さい頃から声かけをしているんですけれども、途中経過を見て、「何だこれは…」と思うことがあります。でも、そこで頭ごなしに怒らないで、どういう経過でそうなったのかを聞いてみて、自分なりに工夫してやってみた結果こうなったんだと捉えて、「すごいね。」、「今まで頑張ってやったんだね。」と褒めたり励ましたりすることが親や先生の役目なのかなと思いました。

別な話になりますが、コミュニティ広場の読書のグループの話し合いのところで、子どもたちから学校の図書室の環境が乱れているようなことを聞きました。昼休みに図書室に本を借りに行きたくても、遊んでいる子が多くてなかなか入れないということだったので、パトロールしていただいて図書室の環境改善をしていただけたらと思います。

(座 長) 貴重なご意見ありがとうございました。本を読みに行ったら騒いでいる子がいるということですが、それについてはよろしくお願いたします。

校長先生方、副園長先生方には、学校評価の内容を柔軟に取り入れていただいております。これで意見交換は閉じさせていただいて、続きまして承認手続きに移ります。承認される方は拍手をお願いします。

(C S 委員) ～ 拍手多数 ～

(座 長) 満場一致の大きな拍手をいただきましたので、承認ということですのでよろしくお願いいたします。それでは、ここで5分間休憩とします。



～ 休 憩 ～

(座 長) それでは皆さんお揃いですので、「(2)の令和7年度おおたま学園C S委員会の運営について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

(2) 令和7度おおたま学園C S委員会の運営について (指導主事 渡邊 博樹)

① 令和6年度おおたま学園C S委員会を振り返って

以下資料に基づき説明…主なものをまとめて下記に列挙

<成果>

- C Sに携わって、教育・学校運営、学校の現状についても知ることができました。
- 平日開催となったフェスタに参加するための調整は大変だったが、今年も子供たちが大玉の自然に触れる機会を設けることができたのは良かったと思う。
- 校区担当の委員の方々に、校内の課題について相談できたり、情報共有できたりしたので、学校としては大変ありがたかった。
- オープンスクール後の学校運営協議会で、各先生方が現場で苦労している部分や手伝ってもらいたいと思っているところを少しでも把握できてきたと思います。ただ、その場で話し合った内容などを記録して共有できるようにすると、各話し合いが気付き等にもつながると感じました。

<課題と改善策>

- 委員の方々にも心配していただいたとおり、持続可能なC Sを目指し、少しでも学校職員の負担を軽減していきたい。それが最終的に子どもたちのためになるのではないかと思います。
- 大玉村に赴任される先生方への当初のC S委員会における取組等の説明をしっかりとすることで、大玉村の教育にかかる先生の負担が増えるのか、負担が減るのかを理解いただくことが必要ではないか。また、今赴任されている先生方へも改めてC S委員会の取組について理解をいただく必要があるのではないか。
- C Sに関わった人たちは、たくさんのことを学び、一生懸命子供たちのことについて考えているが、こういった活動をしていることを保護者や先生たちはほとんど知らないと思う。もう少し保護者や先生方をうまく巻き込み、知らせていく方法を考えていきたい。
- C Sの活動や学校ボランティアの関わりについて動画を撮りためておき、15秒程度をいくつかにまとめて、学習発表会の休憩時間や個別懇談の控室などで流しておく、PRになるのではないか。
- 小さな村なので、保護者のつながりができるようにC Sの活動を知ってもらうためにも、C Sの日程を保護者にお知らせして、見学に来てもらってはどうか。
- ふれあいフェスタ … 各学年で実施した活動は子どもたちが本当にやりたい活動であったのか？子どもたちの「やりたい」を反映をした活動を取り入れたい。
- コミュニティ広場を、改善センターではなく全員参加の授業参観でやってみたい。各班で机を合わ

せワールドカフェ方式で、例えば、「家庭学習と運動どちらも頑張るには？」等のテーマで子供と保護者とCS委員で同じ悩みを共有することで本人が問題に気付き、自分達で解決するきっかけを作りたい。

② 基本方針・年間計画（案）の説明 ※ 修正点のみ記載 ～他は省略～

ア 基本方針（案）

- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り子ども達や保護者、教職員の意見を取り入れ、子ども理解・学校理解・家庭理解のより一層の深まりとともに、子ども、学校、家庭、地域の協議の活性化をを目指す。
- 学校が主体となって企画するおおたまふれあいフェスタの運営に参画し、ねらいの達成に寄与するとともに、子どもたちの意見を取り入れた活動を検討する。
- 第7回おおたまコミュニティ広場（第17回大玉村教育フォーラム）は、保護者、村民の方々が年に1回集い、大玉村の子どもたちの身近な課題について語り合う場として実施する。その際、保護者、村民ができるだけ多く参加できるよう、呼びかけ・周知を図る。・・・・・・

イ 令和7年度の計画（案）

月	日	曜	会 議 ・ 主 な 活 動
5	9	金	第1回CS委員会 ・委員任命 ・学校関係者評価委員委嘱 ・地域教育協議会委員委嘱 ・年間計画（CS委員会運営・内容等） ・第1回地域学校協働本部地域教育協議会（R7 地域学校協働活動事業計画について） ～小グループによる熟議～ ・各校園が重点的に取組むこと、お願いしたいこと
	23	金	第1回CS委員会役員会 ・第3回CS委員会の持ち方について ・全国CS連絡協議会研究大会 in 仙台の参加について ・学校評価についてのCS委員研修会（1月）の内容検討
	23	金	おおたまふれあいフェスタ(幼) 運営・参画 スポーツ交流イベント
6	20	金	第2回CS委員会（玉井幼・玉井小学校運営協議会） ※オープンスクール実施
7	29	火	おおたま学園全体会 ・各委員会 ・教育講演会
8	28	木	第3回CS委員会 ～小グループによる熟議～ ・おおたまふれあいフェスタの実施計画について（教職員・CS委員との合同会議）
9	10	水	第4回CS委員会（大玉中学校運営協議会）※オープンスクール実施
	26	金	おおたまふれあいフェスタ（小・中）運営・参画 大名倉山登山、安達太良山登山
10	1	水	おおたまふれあいフェスタ（小・中）運営・参画 オリエンテーリング、昔遊び・グラウンドゴルフ、ミニ運動会
	22	水	第5回CS委員会 ・全国学力・学習状況調査結果、ふくしま学力調査結果の概要説明 ～小グループによる熟議～ ・2025 おおたまふれあいフェスタのアンケート結果報告と反省
11	7～8	金土	全国コミュニティ・スクール連絡協議会及び研究大会 in 仙台

	2 1	金	第6回CS委員会（大山幼・大山小学校運営協議会）※オープンスクール実施
1 2	9	火	第7回CS委員会 ・コミュニティ広場について ～小グループによる熟議～ ・令和8年度各校・各園の学校運営方針(案)について
1	1 5	木	第8回CS委員会 ・おおたまコミュニティ広場の最終確認 ～小グループによる熟議～ ・令和8年度CS委員会の運営について ・第2回地域学校協働本部地域教育協議会(R7 地域学校協働活動事業評価・検証について)
			1月～2月学校関係者評価実施 ・各校園委嘱の学校関係者評価委員が行う。 ・各校・園毎に日時設定 ※年間の振り返り
2	2 1	土	第7回おおたまコミュニティ広場(第17回大玉村教育フォーラム) ・第1部 小・中学生の発表 ・第2部 フリートーク（小グループによる熟議）
2	2 5	水	第9回CS委員会 ・学校関係者評価報告 ・学校運営方針 → 承認 ・R7反省・R8計画(CS委員会の組織、運営等) ・R7地域学校協働本部事業評価・検証結果について

- 6、9、11月実施の各校園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にを行う。（授業参観一事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）
- CS委員の任期は2年のため、令和7年度に改選を行う。

③ 意見交換

（座 長）只今、事務局より説明がありましたが、2年間CS委員として活動してきて、何かご意見はありますか。令和7年度は5月9日が第1回目の会議となりますが、新しく任命される方にとってはこの場が初めてになります。最初の会議から大事な案件の協議があるのですが、1年目ということもあって、CSのことをよく理解してないのにいろんなことが話し合われ、何が何だか分からないうちに話が進んでいたような記憶が残っています。そこで、初めての方を対象に、5月9日以前に短時間でもいいので打合せがあるといいと思います。可能であれば旧役員だけでも参加して行くとより丁寧かなと感じています。

また、学校評価についても講師をお招きしての研修等があったと思うのですが、計画に入れられないのであれば別日を設けていただいて、初めての方と役員が話を聴く機会を設けた方がいいと思います。親切、丁寧にやっていかないと新しい方が苦労しますので、後で打ち合わせをさせていただき、持ち方を検討したいと思います。

その他皆さんかいかでしょうか。皆さんの意見を取り入れて、より良いものにしたいと思いますのでよろしくお願いします。

（岡 委 員）子どもたちには「振り返り」というのが結構ありますけれども、CSのメンバーでの振り返りも必要だと思っています。2年間やってきて、毎回内容が盛りだくさんで、「こうした方がいい」という意見が出たとしても、それについて意見交換をしたり、次年度の検討をしたりする場や時間が全くなかったように思います。そして、翌年を迎えるとまたたたき台ができているような状態で、承認だけを求められることが多くありました。それはやはり違うのではないかなと思うんですよね。年度の終わりでも始めでもいいですので、こうしたらいいのではないかなという話し合いをフリートークのような形で行う等、きちんと話し合いができる場が必要ではないかと思いました。

(座 長) 昨年、1年目の方にお集まりいただき、事業の振り返りをさせていただきました。今回は、委員改選ということで再任される方、退任される方がいらっしゃると思いますが、また別日に振り返りの場を設けたいと考えています。校長先生方はお忙しいと思いますので、このメンバーだけでも場を設定します。後日連絡しますのでよろしくお願いします。
その他何かございませんか。

(渡邊指導主事) 大山小オープンスクールと大山幼・小学校運営協議会は、11月21日(金)となります。訂正をお願いします。

(座 長) では、続いて、「(3) 地域学校協働活動評価・検証」について事務局より説明をお願いします。

(3) 令和6年度地域学校協働活動評価・検証結果について

① 事務局より説明 (協働本部事務局 佐藤 勇人)

○ 第2回協議会実施後、委員の方々に評価・検証いただいた。今日はそれをまとめたもののもとにご意見をお伺いする。(記述内容を大まかにまとめて示す)

ア 「地域学校協働活動本部事業」実施状況報告について <評価：平均 3.5 / 4>

- 子供達の学校生活と違った一面などを見ることが出来る場だとも思われるので、学校との共有が図られるとよりいい。
- 事務量・負担軽減の取り組みを進める。
- 連携・協働活動、放課後子ども教室 → ボランティアの増加
- 広報の工夫、SNS等をうまく利用していったり、ボランティアの活動内容を具体的に一覧表のようなものにして配付するなど良い。
- 具体的な内容や簡単な感想等の発信
- 必要に応じて、前もって打ち合わせや準備をボランティア自身が行う。(活動内容による例：家庭科のミシン etc.)
- 家庭教育支援活動 → 幼稚園で保護者に向けての講演会を開く。

イ 「地域学校協働活動本部事業」アンケート集計結果について

<評価：平均 3.67 / 4>

- 地域学校協働活動についての理解
 - ・ 教職員が活動事業について知らないということ自体が負担と感じている要因ではないか。知らないのであれば、知る努力も必要。
- 教職員の負担感の軽減について
 - ・ 学校の活動で依頼する際の先生方の負担を軽減する。
 - ・ 先生方が働き方改革を含め大玉村の教育の中で負担に感じている部分は具体的に何なのか、教職員でなければできないこととそうでなくても良いことを徹底的にリストアップ、洗い出していく。
 - ・ 実際に何が負担になっているのかを具体的に言ってほしい。
- その他
 - ・ 記入式のアンケートは生の声が聞ける利点はあるが、一人の意見が全体の意見ともとられてしまう危険性があり、取り扱いには注意しなければならない。

② 意見交換

(座 長) 皆さんからご意見がありましたらお願いします。

(平 委 員) 私は放課後子ども教室のボランティアをさせていただいています。年度末からだったので、1年間の活動内容が見えていなかったのが、活動計画書を見せてもらえばよかったなと思いました。また、ボランティアができるというふうに3回程手を挙げたのですが、1回目については1週間前に案内が来たのですが、2回目、3回目については案内が来なくて、自分が行っていいのか、はたまた間に合っているのかとかがよく分かりませんでした。こちらから連絡しなかったのも良くなかったと思うのですが、返事がないとどんなふうに動いていいのか分からなかったのが、そこがちょっと残念なところでした。今後も継続していきますので、連絡等をうまくやっていただければと思っていますので、よろしくお願いします。

(安田委員) 私も出られる時はボランティアに出ようと思っているのですが、地域の方がこんなにも積極的にたくさんボランティアをされていてすごいな、年齢層も幅広くて素晴らしいなと思いました。私も協力できる時はしたいと考えています。

(遠藤愛委員) 私も昨年度は子ども教室のボランティアに出させていただいたのですが、今年度はなかなかできなくて、参加しないと情報が入ってこないというのがありました。ボランティアとして参加される方向けの情報と、ただ情報を得たい人向けの情報等分けて発信できたら、ハードルが下がって、いろんな方に情報が広がるのかなと思いました。

(田邊委員) 事務局で資料をまとめていただいたものを見せていただき、本当に大変だったなあと思っています。

先程会長さんからお話があったように、CSの活動についてCS委員の任期1年目は内容をよく理解できていないまま進んでしまうという難しさがあります。

先生方の負担感というのは、もちろん一人一人違って、全部が同じベクトルとは思わないのですが、地域学校協働活動事業についての理解がさらに深まれば、大玉の子どもたちのためにいいのかなと考えます。年度のスタート時に、「大玉村の地域学校協働活動事業はこういうものだよ」、「ボランティアに入ってもらいたいんだよ」ということをもう少し先生方に分かってもらって、子どもたちのためにということで同じ方向を向いていけるといいのかなと思いました。



(今井委員) 私は、学校支援ボランティアで去年は彫刻刀を使う学習のサポートと、家庭科のミシンのサポートに入りました。彫刻刀は息子の学年だったので、知っている子どもが多くて、中には遊んでしまう子がいるのも分かっていたので、入ってすぐにスムーズにサポートできました。

家庭科のミシンは大山小のボランティアとして行ったのですが、部品が足りなかったり、下糸を巻いていなかったりと準備ができていなくて、結局ミシンで縫うことができず終わってしまい、子どもたちも私たちもあたふたしてしまう感じだったので、そういう無駄な時間がなくていいのかなと思いました。

(大内委員) アンケートを読ませていただきました。褒めていただけている意見等がありましたが、中には厳しい意見もありました。アンケートは、褒められると嬉しいのですが、厳しい意見に目を向けて、今後それを改善する方法や対策をつくらなければならないと思います。そうしないと、来年もこうになってしまうのかなと感じます。

(座長) ご意見ありがとうございました。おっしゃる通りで、毎年厳しい意見が出ますので、振り返り等で改善できる部分については改善していきたいと考えております。

それでは、(4) 令和6年度おおたまコミュニティ広場アンケートについてご説明をお願いします。

(4) 第6回おおたまコミュニティ広場(第16回大玉村教育フォーラム)アンケート結果から

① 事務局より説明 (CSディレクター 佐藤 勇人)

『資料に基づき説明…主なものだけ下記に列挙』

【参加者数】101名 【視聴回数】68回

【アンケートから】*回収率84%

- | | | |
|-------------------|--------------|-----------|
| ①『1部』小・中学生の発表について | 「とてもよい」84% | 「よい」16% |
| ②『2部』フリートークについて | 「とてもよい」80% | 「よい」19% |
| ③村のため何か始めてみたいと思う | 「とてもそう思う」61% | 「そう思う」37% |

－ 13 －

【意見・感想等】 ※主なものを抜粋

○ 第1部 小・中学生の発表について

- ・ 他校の方たちと交流できてよかったです。これまでコミュニティ広場のために頑張ってきたことを全て出し切れてよかったです。とても達成感がありました。(小学生)
- ・ 小・中学校の発表は、総合的な学習をテーマにしたもので、無理のない発表でよかったのかなと思います。立派な発表でした。(CS委員)
- ・ 小学生・中学生は、何十時間もかけて発表の準備をしてきました。発表の後に、数人でいいので大人からの感想発表や良かったところ、勉強になったところ等の発表があるといいな、励みになるなと思いました。(教職員) → 昨年度も同じ記述があった。次年度は改善すべき事項

○ 第2部 フリートークについて

- ・ 他の人の意見を聞いて納得する部分があり、自分もやってみようかなと思いました。(小学生)
- ・ 小学生や大人の視点の話は中学生同士の話し合いでは出ないとても貴重なものだった。(中学生)
- ・ とても良い話が聞けたと思います。家庭でも取り入れていきたいと思う話ばかりでした。(保護者)
- ・ 同じグループの小・中・大学生の発言が素晴らしく、今後の大玉の未来は明るいと感じた。(教職員)
- ・ フリートークはいつも勉強になります。今年も小学生や中学生、保護者、教育関係者などいろいろな立場からの考えを聞くことができました。(CS委員)
- ・ 話の中にありましたように、保護者の協力が不可欠であり、これをどのように伝えていくかが課題だと思います。(CS委員)
- ・ 村の人々が子どもを交えて同じテーマで語り合える、共通認識を持ち合える機会があるのが大玉村の魅力だと実感しました。(その他)

○ その他、全体的な意見、取り組んでみたいこと等

- ・ 矢吹会長さんのお話の通り、親の努力が必要不可欠だと感じました。自身の行動を改めて行きたいと思います。(保護者)
- ・ フリートークは全ての班の内容を聞いてみたいと思った。午前と午後で発表とフリートークの時間をつくっても良いと思う。昼食を食べながら話せるのも楽しそう。(その他)

○ コミュニティ広場で行ってほしいこと・話し合ってほしいこと

- ・ 今後村がどうすれば活発になるかについて話し合ってほしい。(中学生)
- ・ 「ゲームは本当に絶対にやらない方がよいのか」(中学生)
- ・ ①「今子どもたちが望むこと」、②「魅力ある村づくりとは？」
- ・ 「地域の発展のために何をすればよいのか」について話し合っていただいたら面白いと思いました。(その他)
- ・ キヨミルクの千葉清美さんにお話をしていただきたいです。横浜出身で大玉村に移住された千葉清美さんのお話を聞くと、大玉村の魅力に改めて気付かされます。～中略～ 何かの機会にお話を聞くことができれば、村の方は元気が出ると思います。(教職員)
- ・ 一番考えてほしい小・中学校に子どもがいる保護者の参加が増える方法を考えることが、最も重要であると感じました。(保護者)
- ・ 発表もせっかくの機会なので、村の方々がもっと気軽に参加できるような形でも面白いのではないかと思います。(教職員)
- ・ 授業参観の後に、保護者を対象とした講演、研修等を実施できたらと思います。(CS委員)

② 質疑応答

(座長) こちらのアンケート集計結果を見ると、本当にやってよかったなと感じました。午前と午後で1日ご飯でも食べてやったらいいという意見もありましたが、「もうちょっとやりたかったなあ」ぐらいの方が次につながるのかなと思います。役員の方いかかでしょうか。

(吉田副会長) コミュニティ広場で私の班は読書について話し合ったのですが、その中で、読書することはよいことだとは分かっているのですが、「読書と呼べる本の基準はどの辺なんだろう」ということで困っていました。子どもが思う読書と大人が思う読書との違いがすごくあって、雑誌(ex おしゃれについての本)は読書と認めてもらえていません。これからは、子どもたちの考えも大事にしていくことも必要ではないかと感じました。

今回は、大人が考えた読書についてという大雑把なテーマでした。子どもたちは、自分が考える読書ということでアンケートに意見を出してくれているので、これをもとに次のコミュニティ広場につなげるといいのかなと思いました。

(館下副会長) 私のグループは家庭学習について話し合ったのですが、小学生1名と中学生2名が参加してくれました。発表してくれるような子どもたちなので、意欲があって優秀なんですよ。自分で時間を決めて学習できているということだったので、「友達はどうなの？」と話を振ったりしながら改善策を考えました。できれば、これができないとか、あれができないとかいう子たちの意見も聞けたらよかったかなと思いました。

また、コミュニティ広場で大山小5年生が発表してくれた内容で、動物の死亡事故についてだったと思うのですが、ポスターを掲示してくれた事業所から「ここに掲示しました」とう写真付きの手紙が学校に送られてきました。地域で子どもたちの学びを後押ししてくれているんだというのが目に見えて実感でき、嬉しい気持ちになりました。

(座 長) いろんなアンケート結果がございましたので、次年度に生かしていきたいと思っております。それでは、「(5) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【大玉村概要】について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

(5) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【大玉村概要】について

(事務局 指導主事 渡邊 博樹)

① 事務局より説明

※ 略 < 資料に基づき説明…児童生徒の実態について >

② 質疑応答

(座 長) 只今説明がありましたが、皆さんから気になる点があれば出していただきたいと思います。

(CS委員) ~特にない様子~

(座 長) よろしいですか。それでは以上で協議を終了させていただきます。ありがとうございました。

6 今年度の総括

(CS委員会会長 矢吹 吉信)

今年度も大変お世話になりました。2年間の任期でありましたが、委員の皆様にはいろいろご意見をいただきましてありがとうございました。

今年度で退任される方もいらっしゃると思いますが、今後とも大玉村の子どもたちの応援団としてボランティアをしたり、これからの未来を背負って立つ子どもたちを温かく見守ったりしていただきながら、お力をお貸しくださるようお願いいたします。今後ともご理解とご協力をいただければありがたいです。

皆さん、ありがとうございました。そして、先生方、ありがとうございました。



7 その他

- コミュニティ広場の記録、CS委員会の記録(6~8回)等をよくご覧いただきたい。
- 「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【大玉村概要】資料」は回収する。

8 閉会の言葉

(CS委員会副会長 吉田 都)

皆様、お疲れさまでした。外はとても寒いので、暖かくしてお帰りいただきたいと思います。以上をもちまして令和6年度おおたま学園CS委員会の全てが完了となります。1年間本当にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。